



Hela News 2014年2月号(222号)

ヘラ・スパイス・ジャパン株式会社 茨城県守谷市松ヶ丘1-4-1

<http://www.helajapan.com>

ドイツ的オリンピックの応援のやりかた

2月8日から、いよいよソチで冬季オリンピックが開催されます～今年の日本は強い！！ですから応援に熱も入ります。

ウインタースポーツが盛んなドイツでも、応援に特別な方法で熱が入りそうです・・・

・・・どんな方法で??

ドイツ鉄道 DB (Deutscher Bahn) の便利なカードは優れもの！！

JRでも、青春18切符や、ジパング、ミドル、大人の休日倶楽部などでJR全線や東日本限定で20～30%割引など、様々な割引があります～でもこれには年齢制限があります。



ドイツ鉄道の通称 DB karte(デーベーカルテ)“BahnCard”は年齢制限はありません利用できる期間によって、お金を払って割引カードを購入する形式です。

たとえば“**DB25**” 2か月間有効で価格25ユーロ、1年間有効で62ユーロ登録を申し込むとカードは後日郵送ですが、その場で通常運賃から25%引きになります。

(カードの名義人のみに適用+片道41ユーロ以上の運賃に適用+座席指定料は対象外)

～6歳から18歳の子供には **Jugend BahnCard 25** が10ユーロで購入できます。

DB50 は255ユーロまでの運賃を50%に出来ます。



どちらも100km以上の乗車距離の駅からは、さらにその122の都市で市内周辺一定範囲は当日1日乗り放題！

有効期間、ドイツ全土からヨーロッパ中へ広がる鉄道切符が25%引きになるので、大変安く鉄道を利用できます。

たとえばミュンヘンからマンハイムまで通常料金が2等で往復150ユーロぐらいなので、それから25%は大きいディスカウントです。

年間フリーパス:DB100は、価格は4090ユーロもしますが、1年間 ICE 特急も乗り放題で無料になります。

妻や6歳から18歳までの子供にも無償でDB25がもらえます。だからビジネスマンには大変お得です。

ドイツでもエアベルリンや、ラウダなど多くのLCC格安航空があり、価格競争が激しく、鉄道への利用者獲得に必死です。

オリンピック期間の DB カード

さらにお得なのは、オリンピック期間！！

もしドイツ選手が金メダルを獲得したら、翌日はDBカードを持っている人には、運賃をタダにするので

す！！ 窓口の人が言うので、間違いありません！本当なんです！！ドイツ人はみんな知ってました！

それなら、TV観戦するドイツ国民も、応援にさらに熱が入るのは当然です！！この経営方針はすごい！！



オリンピックを国中で盛り上げようという意気込みもすごいですが、DB への応援もしたくなるような、「そんな粋な会社なんだ」・・・と思える、企業イメージを上げる素敵なアイデアだと思います。

環境保護+カレーヴルスト



ドイツの街角あちこちで食べられるフィンガーフード・カレーヴルスト

・・・まるで大阪心斎橋通りで食べるたこ焼きの感覚！！

手軽に食べられるということから、食べた後のトレーがゴミの山になることが最近問題となっている。

石油価格の高騰で、資材関係の値上げが続き、包装資材のコストも無視できない。カレーヴルストの定番の容器は紙製で周囲がヒラヒラとしたデザインが特徴的。陶器で作ったレストラン用もある。料理も美しい器に盛られてこそ美味しくなる。

ビールもシャンパンもきれいなガラスの容器で飲んでこそ、すっきり感を味わえるのであって、紙皿、紙コップでは無粋というもの～最近のカレーヴルスト専門店で、5ユーロ補償金を預かって、陶器製の容器で出すところも現れた。その代り、トッピングのスパイスやソースなど好きなだけ選んでいい。名付けて、**デラックスカレーヴルスト** もちろん食べた後、器を割らずに戻せば5ユーロは返してくれる。

ドイツと日本の大きな違い～誕生日の祝い方

誕生日には、家族や友人から、何かしらプレゼントがもらえ、どこか美味しい店に招待してもらい、祝ってもらえる・・・と思っているのは日本人。

誕生日には、ここまで生きてこられて、生んでくれた両親や、支えてくれた夫や妻や、子供、親類、友人に感謝する日と考え、何かしらみんなにプレゼントを送ろうと考えるドイツ人。

これはとても大きな異なる文化です。

ドイツでは、誕生日には、会社では、職場の仲間にケーキやチョコレートを振る舞ったり、家族をレストランに招待したり、週末に自宅でホームパーティーを開きます・・・本人が主催です・・・費用も本人持ちです。

ドイツ人は、30、40、50、60歳と、人生の大きな節目には、新たまって、大きなパーティーを企画します・・・本人がですよ・・・パーティサービスを頼んで自宅でしたり、夏場なら、市が持っているキッチン付きの山小屋を借りたり、気に入ったレストランを予約したり、気合を入れてホテルでパーティという趣向もあります。

このバースデー市場は、必ず招待されたり、招待したりと交互にエンドレスに続く市場であり、ドイツでは大きな消費のパワーです。日本は盆暮れが進物の時期ですが、ドイツは年中ギフトシーズンです。

Horst Stork ドイツ人の古希の祝いかた



ラインランド・ファルツ州の食肉組合で審査員を長くしているBad Dürkheim バド・デュルクハイムの元肉屋さん Horst Stork氏は、1月25日に、市内のクアホテルで満70歳の誕生日を祝う会を自分で開催した。60歳までは肉屋を開いていたが、店はパン屋さんに貸して、製造だけをしながら、パーティーサービス業と毎年9月の世界最大のワイン祭り(2週間)Wurstmarktへの出店

(30年間)、審査員の仕事を続けていた。

30年来、愛知県犬山市の食肉加工会社で技術指導をしてきた経歴があり、



日本とも親交が深く、今は旧店舗をパン屋チェーンやピザ屋に貸したり、貸家を多く持ち、美人の奥さんと二人で悠々自適。

近隣から旧知の肉屋仲間夫妻10組、自警団として長く貢献した街の消防隊仲間も呼び、友人総勢65名を招待した。

特に肉屋仲間とは、奥さん同士も店を支えてきた共通の経験から、お互いの苦労を理解できて仲が良く、一緒に旅行したりと、交流が途絶えない。

夕方6時からの祝宴会を、料理で定評あるガーデンホテル Heusserで開いた。右の写真は“貴方達をご招待します”と書かれたカードの表紙と、中は子供の頃の写真付きの案内文～60歳でおおよその仕事を終え、今70歳を健康で幸せに迎えられた事を詩に表現。欧米では、誕生日や、金婚式の招待状に子供のころの写真や、50年前の結婚式の写真と同じポーズで撮った写真を添付することがよくある～ビフォー・アフターである。



写真は、同業の親友たち、右端は、お祝いに犬山市から駆け付けた齊藤家の皆さん。

ビュッフェスタイルの料理が素晴らしい

～さすがにドイツワインの本場だけあって白ワインの最高級が4種類、前菜が14種類、サラダが3種類、肉団子入りコンソメスープ、メインはローストビーフ、仔牛のフィレロースト、牛フィレ赤ワインソース煮込みの3種類＋温野菜、デザート5種類それに花火付きアイスデコレーションケーキのサービス





写真上、左からサーモンカルパッチョ、牛カルパッチョ、生ハム、牛と仔牛のターフェルシュピッツ、白身魚とサケのテリーヌ、すり身海苔巻風。 夕方6時にビュッフェがスタート、夜中1時半まで飲んで語り明かす際にはシュナップス(焼酎)などリキュールのサービス……ホテルマンは夜中まで忙しい。

さて、食事の値段は???

通常のパーティーサービスなどで見積もる料理のみの価格は25~30ユーロ
飲み物などは自分で調達することも可能・・・しかし、ホテルですと・・・

メニューカード作成料 3.5€ x 21 = 105

料理 56€ x 57人分 = 3192 + 子供用料理 28€ x 2 = 56

乾杯用シャンペン 3.5€ x 53杯 = 185

花火つきアイスクリーム 5€ x 59人分 = 295

全て白ワイン Camouflage 25€ x 12本、Spätburgunder 25€ x 8本、

Riesling 24.5€ x 14本、Brauburgunder 25.5€ x 10本 = 合計44本 825

ビール色々 4.3€ x 11杯 = 47.3 コーラ等ソフトドリンク 3.8€ x 11 = 41.8

水10瓶 5.2€ x 50本 = 260 グラッパ等シュナップス 9.5€ x 12杯 = 114

コーヒー、エスプレッソ等 2.7€ ~ 3.7€ x 66杯 = 182.3

その他 合計5500€ = 80万円

サービス料、チップなど含め 約100万円~ひとり15000円ぐらいの費用。

招待客も話が盛り上がり、お酒の後のコーヒーやお水をどんどん飲みながら遅くまで楽しんでくれたので、招待した本人と奥様は お財布は少し軽くはなったものの、翌日にはホッとした様子。

前日には自宅で料理を取り、他の友人を招待。50名近く三々五々に来て、夫婦二人でワイン1本程度持参。正式な祝宴には、写真集やボトルキーパーなど3~5000円程度のしゃれた物を探して渡す・・・でも身の丈で良い。 日常的に誰かの誕生会があるので、バースデー市場はドイツの大きな経済効果である。

